



草加は自分の原点
住んでいる人たちがおもしろいと
思える場所をつくりたい

谷塚駅西口でイベント業を営む國分隆さんは、「自分も誰かの居場所をつくれる存在になりたい」という思いからリノベーションスクール@やつかに参加しました。「リノベーションまちづくりで近所に行きつけのお店が増え、まちづくりが人々の暮らしを変えていることを肌で感じたんです。その経験から自分もまちに関わってみたいと思いリノスクに参加しました。いざリノスクが始まると、講師や他の参加者の熱量の大きさに驚きました」

國分さんが参加したリノスクでは、実在する空き店舗を題材にして、谷塚駅周辺の発展のためにそこで何ができるのかを問われました。それまでは個別の事業のことだけを考えていた國分さんですが、リノスクを経験して考え方や価値観が変わったと言います。「リノスクの3日間は徹夜でこなし思い出があります。でも、そのおかげで、本気で谷塚のまちに向き合うことができました。今は自分の事業がまちの価値の向

上にどう貢献できるか。そのために何が必要かという視点で考えています」

國分さんはリノスク終了後、当時神明にあったオフィスを谷塚に移設。今後、Rootsのオフィスを人々が気軽に集える場所にし、谷塚駅周辺の活性化の拠点にしていくそうです。「何も無いと言われてきた谷塚駅周辺エリアに真剣に向き合って、住んでいる人がおもしろいと思えるまちにしたいと思っています」

そうかを楽しむひと

CASE.2

國分隆（くにぶりゅう）さん

株式会社 Roots 代表取締役
埼玉県日高市出身。獨協大学進学とともに草加に移住。就職を理由に一度都内に住むも、改めて自身の居場所は草加だと感じ、再び拠点を草加に移す。

そうかを楽しむひと

CASE.3

山口和美（やまぐちかずみ）さん

児童英語講師 / 宅建士

結婚を機に草加に移住。自身の成長につながると思い、第1回リノベーションスクール@そうかを受講。現在はリノスクの卒業生兼司会者として受講生たちを見守る。



自分の可能性を解き放つ舞台
生活を色鮮やかに豊かなものへと
変えてくれた

「まちを良くすると言っても、自分自身が幸せじゃないと意味がないし、親が楽しんでいるからこそ、それが子どもにも伝わるんだと思うんです」

そう語る山口和美さんは、第1回リノベーションスクール@そうかに参加し『野菜とお酒のバル スバル』を提案したメンバーの1人。今ではお子さんが「草加が好き。自分もまちづくりをやってみたい」と言っているそうです。

そんな山口さんにリノスクの思い出を聞いたところ、想像以上に大変だったと振り返ります。「最終日の午後2時に事業内容を発表しな

ければいけないのに、スバルをやると決まったのは最終日の午前3時過ぎ。正直もうダメかと思いました（笑）」

収支計画や事業計画、プレゼン資料等を急いで作成しなければならず、メンバーと意見がぶつかり合うこともあったそう。しかし、本気で向き合ったからこそ、仲間への思いや感謝があふれ最後には涙をこぼすメンバーもいたと言います。

「苦しかったけれどリノスクでの経験は、今の自分の原点になりました。リノスクは、参加した人それぞれの良さを最大限に引き出して、進化させてくれる場所なんです」

山口さんは、第2回目のリノスク以降、最終日のプレゼンテーションの司会者に抜擢され、毎回受講生を見守ってきました。「近所にお気に入りのお店を見つけるだけで、まちをちょっと身近に感じると思います。それだけでも大きな一歩。もう少し踏み込んでみたいという人がいたら、ぜひリノスクに参加してみてください。想像以上の変化があり、人生がもっと豊かで楽しいものになるはずですよ」